令和4年3月31日　発行

# 中村設計新聞

第九十九号
三月十九日　曇時々雨

三月は事務所で藍染め体験をしました。

おかげさまで
創立55周年

## ○藍染め体験

今月の土曜研修会は所内で藍染を体験しました。コロナウイルス感染者数は減少傾向でしたが、まだまだ感染者数が多い為、十分に配慮して行いました。

藍染めの原料となる藍は古来から薬草として重宝されてきました。その効果として、抗菌作用・抗炎症作用等があります。昨今、藍染を使用した商品も増えています。

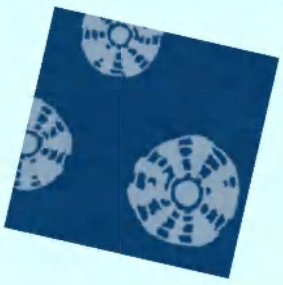
また東京オリンピック・パラリンピックの公式エンブレムにも藍色が採用されました。

今回の体験では普段から使用できるハンカチとトートバッグを藍染めしました。ハンカチについては、各自がデザインを考えてオリジナルの作品としました。

↑体験前に藍染について学習

↑濃淡で表現できる色の種類

↑東京オリンピック公式エンブレム
（出典：東京オリンピック組織委員会Webサイト）

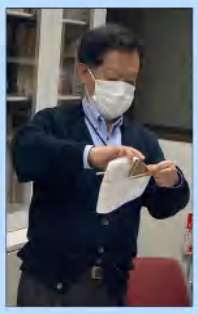


## ○藍染め工程

①型板や割箸、スーパーボール等を使用し、輪ゴム等で縛り染まらない箇所をつくる『絞り』という作業をします。規則的な折り方をすることで幾何学的な模様も表現できます。

←

②藍濃縮液等を染色を行うのに適温である二十度前後に調整した水と混ぜ染料を準備します。



←

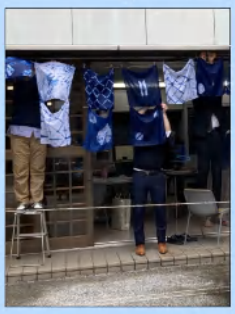
③染める布は染めムラが出ないように先に水に浸してから染料に浸け、常に染料の中で布を動かします。染料の酸化防止しながら作業しています。

←

④染色した布を空気に触れさせ酸化発色させてから、水洗いを二段階で行います。

←

⑤空気酸化をさせることで、染料の定着を促すことができる為、数日間かけ十分に乾燥させて完成です。



## ○レポート

藍色は、武士の時代には「縁起の良い色」として好まれ、明治には海外から「ジャパン・ブルー」と称えられた、日本を象徴する色。それらのことから、藍染は一度やってみたいという思いがありました。

体験の前に、藍の歴史や藍の持つ効果などを学習しました。近年では建築業界においても、濃淡の美しさからコンクリートや木材の塗装に使用されています。白のハンカチを手染めするという体験。白の染料がつかなかった部分が白く残るというものでしたが、なかなか完成をイメージすることが難しく苦労しました。

勉強の後は、待ちに待った藍染めです。

最後に、所員それぞれが染めたハンカチを一列に干して鑑賞しました。まったく同じ色、同じ模様がなく、大変面白く感じました。藍色、理由はわかりませんが、凛とした中にも穏やかさや懐かしさを感じられる色でした。

福嶌　豊

↑水洗いが完了したら乾燥

↑分担して染色・水洗い作業

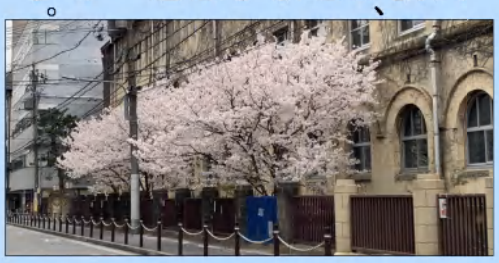
↑室内で数日間乾燥させ完成

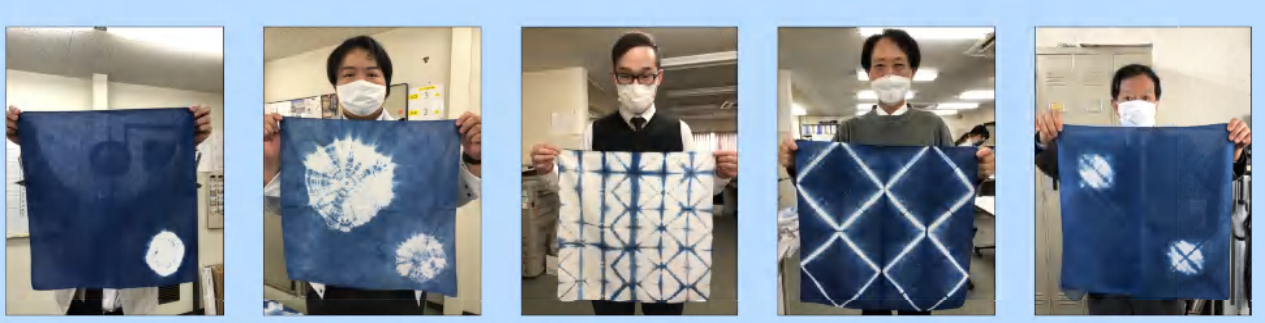
↑よく染まるように攪拌中！

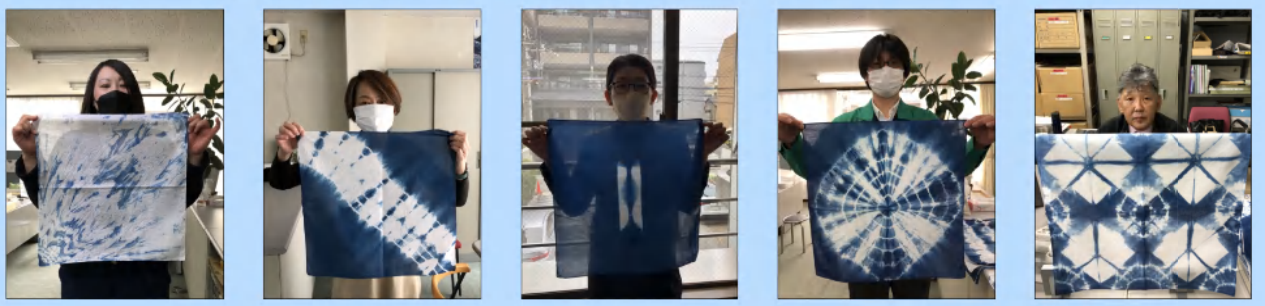
## ○まとめ

三月に入り寒暖差の大きい日もあり、気温が読めない日が続きましたが、三月の下旬を迎え段々と暖かくなり近隣にある京都市立下京中学校成徳学舎（旧成徳中学校）では桜も満開となり見頃を迎えています。

感染対策をして各地のお花見を楽しみたいです。




自分だけのオリジナル藍染めハンカチを作り上げることが出来ました。



次号は4月28日発行予定です。

㈱　中　村　設　計